

警戒レベル4

「避難指示」が発令された危険な場所にいる人などは全員避難

避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所に避難してください。また、外出すら危険な場合には屋内で安全を確保してください。

▶ 複数で避難、隣近所に声をかけましょう！

一人で避難することは非常に危険です。複数で避難し、隣近所に声をかけていきましょう。



▶ 危険な場所は避けて避難しましょう！

ガード下や、がけの近く、堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることは避けて避難しましょう。



履物に注意しましょう！

運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。

マンホールに注意しましょう！

大雨によりマンホールのふたが外れることがあります。杖や棒などで足元を確認しながら避難しましょう。

車での避難は控えましょう！

車は約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

歩ける深さに注意しましょう！

浸水時に歩ける深さは、ひざの高さ程度までです。水かさが腰までであると疲労しやすく、流速がある場合は20cm位の水かさでも危険です。高い場所で救援を待ちましょう。

警戒レベル5

命を守る最善の行動をとる

※町からの緊急安全確保は、災害が確認された場合、または切迫している状況にある場合に発令されます。

既に災害が発生している状況であり、命を守る最善の行動をとります。



町から発令される避難情報

避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。

安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

高齢者等避難 (警戒レベル3)

高齢者等避難が発令された際には、高齢者や障がい者等の避難に時間のかかる人やその支援者は危険な場所から避難を開始してください。

その他の人は避難の準備を整えるとともに、今後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に危険な場所から避難を開始してください。

避難指示 (警戒レベル4)

避難指示が発令された際には、山ざわや河川のそばなど危険な場所からできるだけ離れ、開設された指定緊急避難場所・指定避難所や、安全な親戚や知人宅、集会場などの安全な場所へ速かに避難する必要があります。

緊急安全確保 (警戒レベル5)

既に災害が発生している状況、または切迫している状況であり、高台へ逃げたり、垂直（階上）避難をするなど、命を守る最善の行動をとってください。

なお、緊急安全確保は、災害が発生していることを、町が把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではありません。